



イラク復興支援群活動報告

18.5.20

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 體 (18年5月20日)

◎ サマーワ主力

○ 人員・武器・装具異状なし

○ 警備態勢：■■■■

◆ 医家

ー外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・ 学校の改修：

ー4カ所(サマーワ×2、ヒドル、ルメイサ)での役務作業

・ 道路の改修：

ー3カ所(サマーワ×2、フルカ)での役務作業

・ PHCの改修：

ー4カ所(サマーワ×4)での役務作業

・ 給水関連施設の改修：

ーフルカ浄水場(フルカ)新規施工開始(座標：NV266823)

ー7カ所(サマーワ×2、フルカ×2、ルメイサ×2、サマーワ〜ルメイサ間)での役務作業

・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：

ー2カ所(サマーワ、ヒドル)での役務作業

・ 燃料関連施設の改修：

ー1カ所(サマーワ)での役務作業

全 體 (18年5月20日)

○ 宿营地関連施設の整備

・ 宿营地敷水

・ ゴミ回収

・ 尿尿汲み取り

・ 環境維持作業

・ ケーブル構成経路端末確認(0〜3ゲート間)

○ 5月20日現在の雇用人員

計599名(累計：463, 190名)※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

・ 9次群第1波(副隊長以下111名)日本到着

・ 9次群第2波第2梯隊(53名)サマーワ宿营地を出発し、キャンプバージニアへ移動

別紙「9次群第2波第2梯隊、キャンプバージニアへ移動」

・ 10次群第2波第2梯隊(60名)、キャンプバージニアを出発し、サマーワ宿营地へ移動

別紙「10次群第2波第2梯隊、サマーワ宿营地へ移動」

・ バスラ基地において、1発のロケット弾によると思われる攻撃事案が発生(細部報告済み。)

・ 供与RO浄水機により給水車延べ11両に対し約148t(約32,889人分)が配水された。

5月20日まで計約68,492t(約15,220,444人分)配水(4.5ℓ/M/人・日換算)

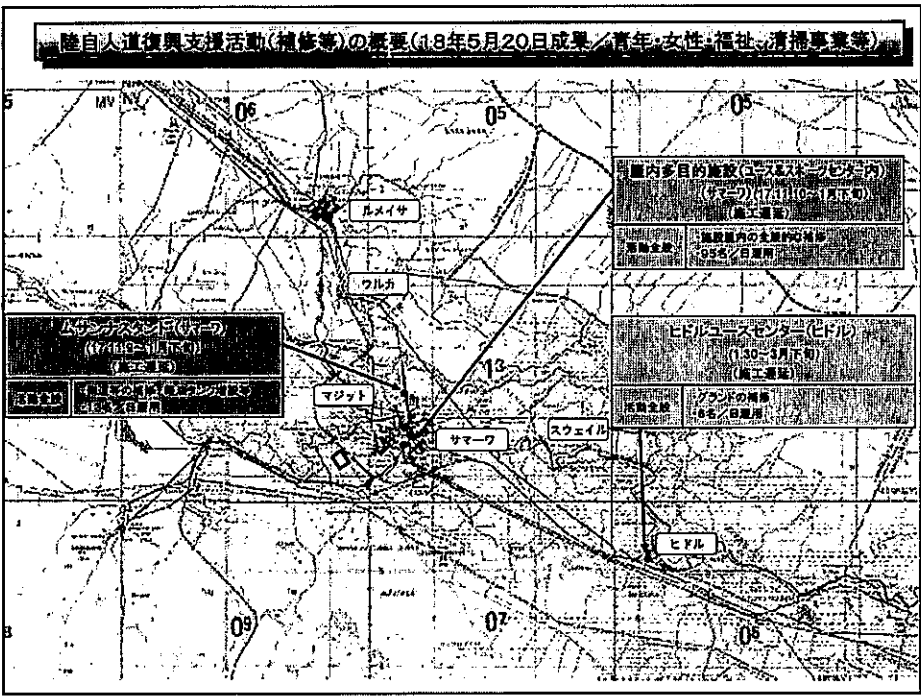
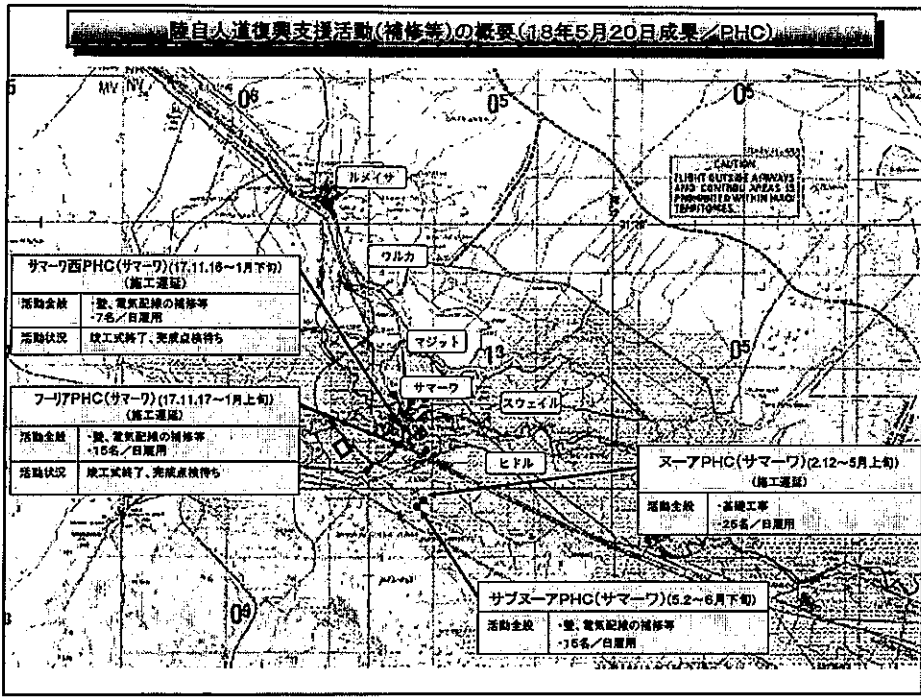
全 員 (18年5月20日)

- クウェート分遣班
 - ・9次第2波第21梯隊(53名)クウェート受入
 - ・10次群第2波第2梯隊(60名)サマーワ展開支援
 - ・部隊貨物輸送
 - ・装備品交付・回収支援
 - ・大使館調整
 - ・ナビスタ国境通過支援
 - ・演習場調整会議
 - ・キャンプバージニアにおける管理支援
- バクダッドLO
 - ・連絡調整及び情報収集
 - ・COA調整会議
- バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議出席
 - ・航空輸送調整等
- スミッティLO
 - ・情報要求対応等
 - ・各種業務調整等
 - ・各種ミーティング等
- クウェート大使館LO
 - ・連絡調整及び情報収集

雇 用 者 (18年5月20日)

別表

区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)	
宿営地外役務	医療	82	417	599
	学校修復	82		
	道路補修	0		
	青年・スポーツ・女性	101		
	給水関連	159		
	燃料	13		
宿営地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
	コンテナメンテナンス	5		



上段:増人員数 下段:減人員数		人員現況																		(備考) 総員の交代及び 増減人員の変化			
区分	所定人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員		定員	増減人員	所在人員
9次実務隊	481	481	2 - 51	270	51 - 2	103	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	373	0 - 0	0 - 0	先行置員名 (KW) 先行置員 以下2名 (KW→SM) 2次之繰降 (SM→KW)
10次実務隊	481	481	60 - 0	255	0 - 80	119	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	374	0 - 0	0 - 0	2次之繰降 (KW→SM)
9次警務隊	10	10	0 - 2	5	2 - 0	2	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	7	0 - 0	3	2次之繰降 (SM→SM)
10次警務隊	10	10	0 - 0	3	0 - 0	3	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	0	0 - 0	8	0 - 0	4	2次KW
高層実務隊 8次置員	112 (109)	76 (74)	- 2	69 (25)	20 1	32 1	5 0	5 0	4 0	1 0	1 0	0 0	2 0	0 0	0 0	113 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	(SM) (KW) (KW) (タリル) (KW) 以下2名 (SM→KW) (KW→SM)
高層実務隊 交拜置員	18	12	0 - 0	10	8 - 0	6 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	16 0	0 0	0 0	高水1層以下2名 (タリル)
合計	1112	1070	63 - 55	612	32 - 285	5 - 5	5 - 4	4 - 4	1 - 1	1 - 1	0 - 0	4 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	891	0 - 0	0 - 0	0 - 0	0 - 0	222		

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 26名 30分(9次幹TV電話合計:1名、FOMA合計:2898名)

		装備の現況 (車両等)																		
項目		車 両															計			
		小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイク口	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型	特大型		浄水セット	重レッカ	溶接車
IQ	サマーワ	12	10	2	50	19	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	176
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル					1														1
	バクダット																			
	計	12	10	2	51	20	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	178
KW	キャンプVA	2			10	1	1	2	1		1	1	2	14	1	1				38
	キャンプ アリアジャン																			
	計	2			10	1	1	2	1		1	1	2	14	1	1				38
総計		14	10	2	61	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	216

装備の現況（武器）

項 目		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマーワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリアジャン							
	計							
総 計								

装備品等の可動・不可動の状況①

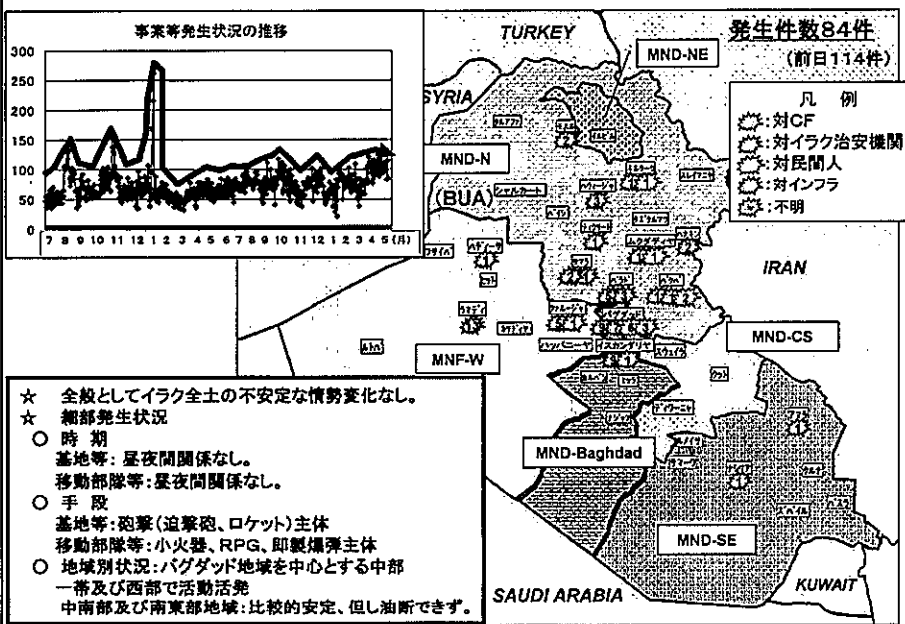
項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	216	214	1	1	冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	部品待×1
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	1	0	定期整備	後送中(クウェート)
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	20	25	50	レギュレータ等不良×20 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×1	部品待×25
発動発電機(25kw)	67	39	11	17	ガバナ等不良×10 ノズル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	59	48	4	7	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1 ファン不良×1	部品待×4
発動発電機(180kw)	17	15	2	0	ガスケット損傷×1 エンジン不調×1	部品待×2
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良×1	後送待×1

装備品等の可動・不可動の状況②

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考	
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離監視装置(V7)							
微光監視装置(V3)							
空中監視装置							

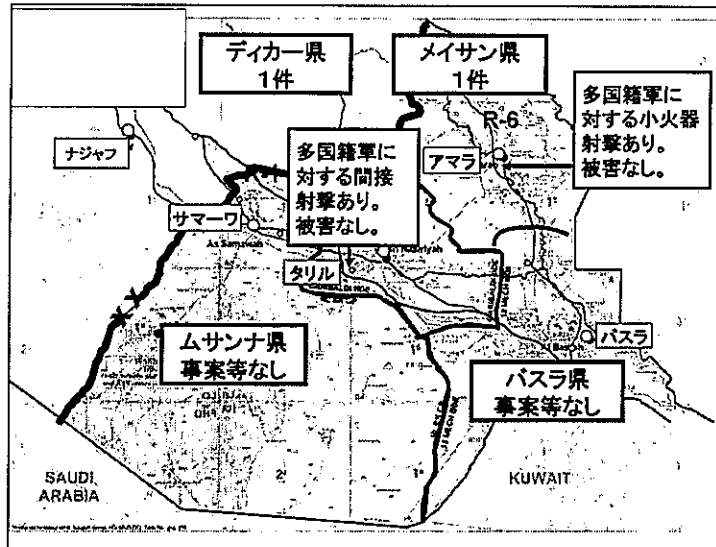
事案等の発生状況 (19日0700~20日0700)

注意



事案等の発生状況 (19日0700~20日0700)

注意



金曜礼拝(5.19)-1

注意

【アル・グレイブ・モスク】

○説法者:モサウイ師(約1400名)

○説法内容

- サマーワの殉教者サドル事務所の閉鎖が噂されているが、我々は、今後も同事務所を運営していく。
- イスラエルと友好関係を築こうとするバラザーニ(クルド民主党党首)批判
- 新政府早期樹立

○ザルガニ師は、礼拝には参加したものの説法は認められなかった。

【ママラハ・モスク】

○説法者:フセイン・ハル師(約80名)

○説法内容

- バスラの治安悪化の原因は英軍にある。英軍・米軍は早期に撤退せよ。
- 早期に強いイラク新政府の樹立

【アル・サマーワ・モスク】

○説法者:アワディ師(約500名)

○説法内容

- 預言者ムハンマドについて
- マリキ氏はテロリスト対策を急げ
- 早期のイラク新政府の樹立

金曜礼拝－2

注意

【アル・マフデイ・モスク】

○説法者：フェルフィー師(約250名)

○説法内容

- 政府は、シーアとスンニ間の問題を解決せよ。
- バスラの危険な状態を止めて欲しい。
- バラザーニの発言(イスラエルとの融和発言)は非常に問題がある。
- イラク国内の治安が悪いのは、多国籍軍とダーワ党がいるからだ。
- 新政府の早期発足
- イラク国内のテロリスト排除

【アル・メデーナ・モスク】

○説法者：ワーイリ師(約1000名)

○説法内容

- イラク政府が機能していない状況で、市民が我々に助けを求めてきている。それは、我々が正しいからである。
- 一部の者が裏事を働き、兄弟であるイラク警察と我々の仲を引き離そうとしている。このような行いをする者は我々の仲間ではない。
- 新政府の早期樹立
- イラクの状況について、今後も同じ状況が続けば、シーア派とスンニ派の対立が継続するだろう。
- 多国籍軍が駐留するために、イラクの状況は日々悪化している。
- 多国籍軍の情報員が外国からテロリストを雇い、イラク国内で誘拐やテロ活動を実施している。
- 12代イマームとシーア派の信仰心について

○その他

- アドナン師は、礼拝には参加したものの説法は認められなかった。
- AKを所持した警護員2名、非武装の警護員22名

金曜礼拝－3

注意

【ムルタバ・モスク】

○説法者：アサディ師(約300名)

○説法内容

- バラザーニの発言に対する批判
- イラク国内の治安が悪いため、早期にイラク新政府を立ち上げ、テロリストの排除を行って欲しい。
- イスラム教に関する事項

【イマーム・リダ・モスク】

○説法者：ギジ師(約110名)

○説法内容等

- 12代イマームについて

【ファータマ・アッザハラ・モスク】

○説法者：サファ師(約100名)

○説法内容等

- 県公舎、イラク警察等の攻撃については、サドル派民兵の仕業ではない。
- サマーワの電力、水道事情は非常に悪いので、知事は対策を練るべきである。
- イスラム教に関する事項

【アル・メリ・ベニン・モスク】

○説法者：ムハンマド師(約100名)

○説法内容等

- サマーワの電力、水道事情は非常に悪く、誰もが怒っている。
- イスラム教について

金曜礼拝-4

注意

【アル・ハッジヤ・ムンタバル・モスク】

○説法者:アワブ師(約100名)

○説法内容

- サマーフの電力、水道事情は非常に悪いので、知事は対策を練るべきである。
- イラク国内の爆破テロ等は、全て多国籍軍が仕業である。多国籍軍は直ちに出て行って欲しい。
- イスラム教に関する事項

【アル・ジャシール・モスク】

○説法者:カフアジェイ師(約100名)

○説法内容等

- イスラム教について

金曜礼拝-5

注意

○ 日本隊に関する発言は確認されなかった。

○ 現在の所、サマーフのサドル事務所には人の出入りが確認されており、閉鎖されていない模様である。また、サドル派系のモスクは通常どおり金曜礼拝を実施した。ザルガニ師は、アル・グレイブ・モスクにおける礼拝に参加した。5月13日のイラク警察との抗争を受けて、サドル派中央のナジャフから使節団が2度サマーフのサドル事務所を訪問しており、何らかの処置がなされると見られているが、今回の金曜礼拝の状況からは、噂されるサドル派民兵指導者層の交代も含めて、どのような処置がなされるか推測することは難しい。

○ 通常、イラク警察等と対立した後に見られるイラク警察非難の発言が確認されず、イラク警察を兄弟と位置づける発言がルメイサで見られた。これは、対立を回避しようとする姿勢の表れと見ることもできる。

○ マジット、スウェイル、ワルカといった地方部において電力、水道に関する要求がなされている。サマーフ市内の給電状況や燃料事情も良くはないが、特に都市部からはずれた地域では、電力事業や水事業の恩恵に与ることが少なく、不満が高いものと推測される。

イラク全土の全般情勢評価(5. 20)			注意
(5月20日変更)			
区分	内容	備考	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 ●サマラでのモスク爆破以降の、宗派間対立が継続するとともに、シーア派モスク等への攻撃の責任を多国籍軍に転嫁する動きが継続 	8/26追加	8/8追加 4/13修正
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍及びイラク治安部隊、イラク移行政権)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィ勢力が共闘の可能性 ●ザルカウィ関連勢力の活動が活発化 ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 	9/15追加	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●新政府での所望の閣僚ポストを獲得できない場合、強硬路線に転換する可能性(減少) 	5/20修正	
特記事項	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加	

イラク南東部の全般情勢評価(5. 20)			注意
(5月20日変更)			
区分	内容	備考	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定だが、多国籍軍及びイラク治安部隊等への攻撃が発生 ●バスラ県、メイサン県に所在した簡易爆弾技能者がディカー県に流入し、活動している可能性。さらにこの一部がムサンナ県にも流入した可能性 ●バスラ県、メイサン県、ディカー県に加えてムサンナ県においても簡易爆弾による攻撃が発生 ●バスラの不安定な治安情勢は継続する可能性 ●サマラでのモスク爆破以降の、宗派間対立が継続するとともに、シーア派モスク等への攻撃の責任を多国籍軍に転嫁する動きが継続 	5/5修正	5/12修正 5/12修正 4/13修正
スンニ過激派 国際テロリスト	●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続		
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●新政府での所望の閣僚ポストを獲得できない場合、強硬路線に転換する可能性(減少) ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 	8/28追加	5/20修正 1/14追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●簡易爆弾及び自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し ●カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ●移動中のコンボイに対する簡易爆弾の可能性 	7/23追加	7/22追加
タリルAB	●経路上の簡易爆弾や小火器射撃等、航空基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃の可能性	9/30追加	

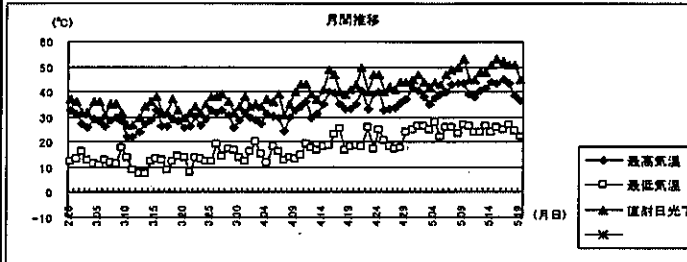
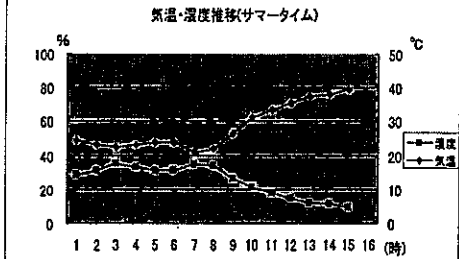
ムサンナ県の全般情勢評価(5. 20) - 1		注 意
(5月20日変更)		
区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●知事、元評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的 ●イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。 ●サマラでのモスク爆破以降のシーア派モスク等への攻撃の責任を多国籍軍に転嫁する動きが継続 ●簡易爆弾技能者が流入したおそれがあり、今後、爆発成形弾等の高性能な簡易爆弾を使用した攻撃が行われる可能性 	9/30修正 10/9追加 4/13修正 5/12追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり。 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性(サドル派民兵が支持獲得のため反多国籍軍姿勢を強める可能性) ●新政府での所望の関係ポストを獲得できない場合、強硬路線に転換する可能性(減少) ●サドル派民兵はねっかえりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国籍軍行動をとる可能性 ●果統合オペレーション・センター及びその周辺での活動及び'Cooperative Zone'(イエローゾーン)への立入要領に関連して、英豪軍及び日本隊等に対するRPGを含む直射火器や簡易爆弾による攻撃が行われる可能性 ●5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊の抗争に関連して、サマーワのサドル事務所に対するナジャフの同事務所中央による統制が強化される可能性 	1/14追加 5/20修正 1/14修正 4/29修正 5/20修正

ムサンナ県の全般情勢評価(5. 20) - 2		注 意
(5月12日以降変更なし)		
区 分	内 容	備 考
部族関連	<ul style="list-style-type: none"> ●宿営地警備等の雇用の増大、復興支援活動の誘致を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報 	2/20修正
デモ関連	<ul style="list-style-type: none"> ●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題、燃料値上げ等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続 ●5月以降の電力事情の悪化が、高値で推移する燃料代や気温の上昇と相俟って、デモや暴動を引き起こす可能性 	12/20修正 5/12追加

現地の気象情報

報告内容

明日の日の出 : 0559(サマータイム)
 明日の日の入 : 1952
 明日の月齢 : 23.5
 明日の月出没 : (出21日0210~没21日1346)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高39.4℃ 最低20.8℃
 : 最49.0高℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 24.8%
 本日の風速 : NE1~2m/s



18年5月21(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	隊長の行動	0645 0700	J10行動証明について(仰指)	
		0815 0830	作戦会議	
		0900 0915	23日J任務経路等について(仰指)	
		0920 0940	9次群第2波第3梯隊出発報告受け及び見送り	
		0940 1100	宿营地内勤務	
		1100 1130	来訪者対応	
		1130 1400	宿营地内勤務	
		1400 1450	来訪者対応	
		1450 1500	活動命令(案)(仰指)	
		1500 1600	22日行動証明について(仰指)	
		1605 1635	デイリーミーティング	
		1720 1740	10次群第2波第3梯隊出迎え	

18年5月21(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1x	第10次群長の行動	0815	作戦会議	
		0830		
		0920	9次群第2波第3梯隊見送り	
		0940		
		0940	宿営地内動静	
		1100		
		1100	来訪者対応	
		1130		
		1130	宿営地内動静	
		1400		
		1400	来訪者対応	
		1450		
		1450	宿営地内動静	
		1600		
		1635	デイリーミーティング	
		1720	10次群第2波第3梯隊出迎え及び到着報告受け	
		1740		
J2	業務支援隊長の行動	0758	隊朝礼	
		0810		
		0815	作戦会議	
		0830		
		0920	9次群第2波第3梯隊見送り	
		0940		
		0940	宿営地内動静	
		1100		
		1100	来訪者対応	
		1200		
		1200	宿営地内動静	
		1410		
		1410	来訪者対応	
		1450		
		1540	CIMICミーティング	
		1600		
		1605	デイリーミーティング	
1635				
1635	操デイリーミーティング			
1655				
1720	10次群第2波第3梯隊出迎え			
1740				
1930				
2000	外務省との定例ミーティング			

18年5月21(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J31	人員輸送(部隊交代輸送)	別示	宿営地 発 タリルAB 着 タリルAB 発 宿営地 着	LAV(G)×4 LAV(G)×2 BRV(G)×3 BRV(Med)×1
J32	人員輸送(部隊交代輸送)	別示	宿営地 発 タリルAB 着 タリルAB 発 宿営地 着	LAV(G)×5 LAV(G)×2 BRV(G)×2 BRV(E)×1
J10	活動地域偵察	別示	宿営地 発 ルメイサ 宿営地 着	LAV(HS)×4
Jx	第2波(第1~第2梯隊)の行動	0800 1600	CV(装備品運搬)	
Jy	10次群第2波(第4梯隊)の行動	0800 1600	CV(移動準備等)	
Jz	来訪者輸送	1000 1030	宿営地 発 タリルAB 着	へり
J201	GRF(A)			

18年5月21(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J202	GRF(B)			
S6☆	勤務警備員配置	21日 1130～ 1530～ 22日 0530～	宿基地～運河警戒位置～宿基地	
S9	統制教育	1740～1750	第10次群第2波第3梯隊到着後の警報教育等	
S11☆	警 街		警 街	
S12☆	浄水活動(運 河)	0730～0900	大量送水システム点検・給動	LAV(HS)×1
S13a	宿基地内工事、作業	0830～1600	宿基地放水	
S13b		0830～1600	ゴミ回収	
S13c		0830～1600	尿尿汲み取り	
S13d		0830～1600	環境維持作業	
S13e		1230～1600	Tレックス(コンテナ整理)	

18年5月21(日)の活動予定

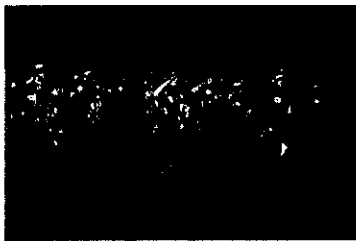
コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S15	群主力の行動	0800 0920	宿基地内活動	
		0920 0940	9次群第2波第3梯隊見送り	
		0940 1600	宿基地内活動	
		1720 1740	10次群第2波第3梯隊出迎え	
		別示	第3波(第1梯隊)検放	
S16	空中監視活動	21日0830 ～ 22日0830	空中監視活動	

18年5月21日(日)の活動予定

クウェート分遣班	バンゲッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・9次群2波3梯隊クウェート受入 ・10次群2波3梯隊サマーワ展開支援 ・破損品交付・回収支援 ・9次群2波に対する換装 ・キャンプバージニアにおける管理支援 ・CFLLC調整 ・サマーワへの送送準備 ・6次業務支援隊長予定者に対する対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 ・大使館送迎に伴う無難傍受支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議出席 ・航空輸送調整等 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

別紙

9次群第2波第2梯隊、キャンプバージニアへ移動



見送りが終わり最後に敬礼する様子



9・10次群長、業支援員に見送られる様子

10次群第2波第2梯隊、サマーワ宿営地へ移動



イラクの地に立った10次群2波第2梯隊

作業合計(5/20/08/15)

○ 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
 ○ 警備態勢: [REDACTED]
 ○ 群長指導事項
 - 本日の部隊交代で9次群と10次群がほぼ同数となり、混成となるこの時期、チームワークを確認する事は極めて重要である。今後、[REDACTED]を予定しており、同じ様な状況になる。混成のチームが連携をとって円滑に活動するためには、互いに手順を確認する事が重要であり、他に任せる事なく、一人一人ができる事をひとつでも多く確認する事が大切である。より幅広く考えながら、ダブルチェックを実施し、危険要因を排除してもらいたい。

アタリ-3-2/16(0/5)

○ 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
 ○ 警備態勢: [REDACTED]
 ○ 群長指導事項
 - 引き続きやるべき事項を確実に実施せよ。特に、安全に関しては妥協することないよう留意せよ。
 - 過去の統計上、迫撃砲事業のほとんどが暗夜に生起している。本日は前半夜までは暗夜であるので、十分注意せよ。

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 [REDACTED] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 大使館員送迎に伴う無縁傍受支援
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	



バグダッドLO日々業務報告(5月20日1830)

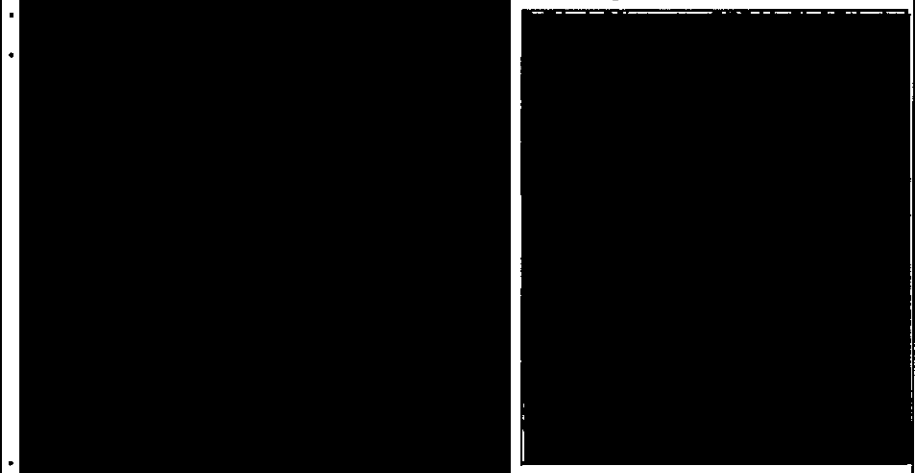


5月20日付JAM情報最新版(仮訳)

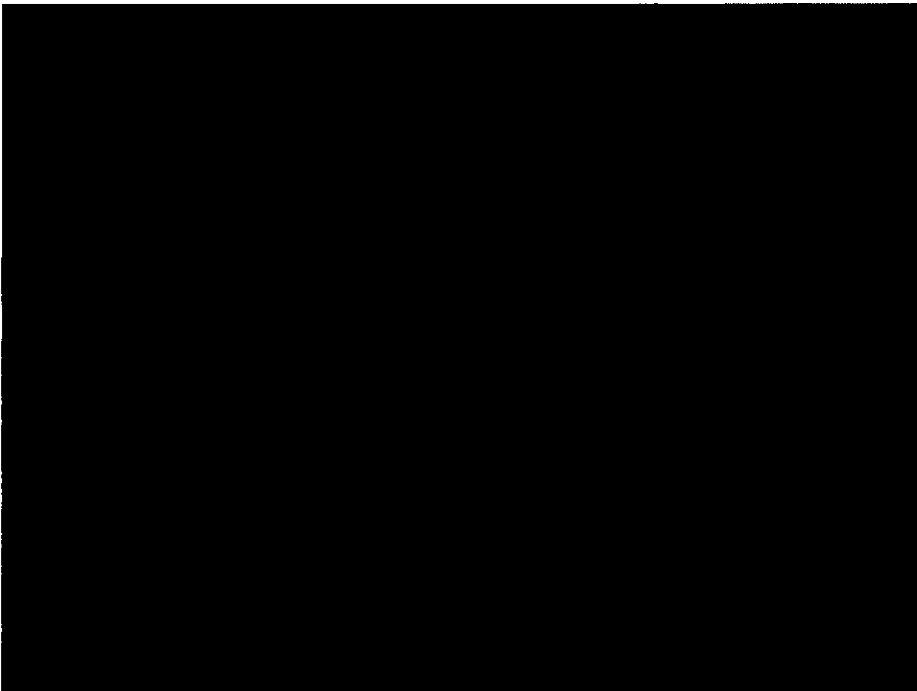
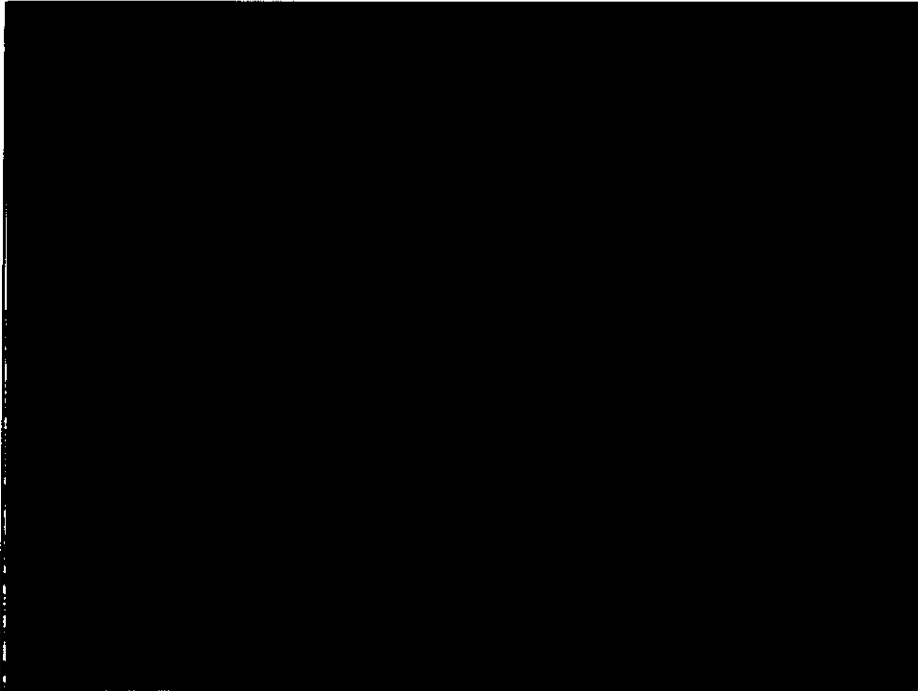


評価:
[Redacted]

[Redacted]
JAM Update: 20 May



Assessment:
[Redacted]



バグダッド 日誌 (5月20日)

○指揮幕僚活動雑感

米軍の指揮・幕僚活動はトップ・ダウン形式であり、日本のそれはボトム・アップ式であると良く耳にする。なるほど、ここキャンプ・ヴィクトリーにおいても「米軍はトップ・ダウンだな。」と感じることが多々ある。もっとも象徴的に感じるのは、BUA(朝の指揮官報告)においてMNF-I司令官 ケーシー大將の質問に答えるのはMNC-I司令官 [] である。[] が、具体的な数字を確認した場合でも即座に [] が回答している。日本であれば担当が分厚い資料を確認して答えるであろうと感じるのだが…。この間、米軍幕僚の担当部署はどうしているかという、「もうすでに報告しているから」と言わんばかりの態度に私には見えてしまう。

多国籍軍司令部において私が経験した「極めて限られた世界」での「限られた勤務期間」を通じたことで恐縮であるが、「米軍は約5～10%程度のもの凄く優秀な人が、その他大勢を導いている。」ように感じる。日頃、米軍人とのなげない交流を通じて、日本では想像もできない人がいる。これは良い意味でも、悪い意味でもある。優秀な数パーセントの人(大佐クラス以上・サーजन・メイジャー・クラスはほぼ100%)の立ち居振る舞いは素晴らしい、カリスマ的オーラを一瞬にして感じることができる。また、その他大勢の方は、おおよそ日本ではチョット...という仕事ぶり、得てしてこれらの方々が尊大な態度をとっている…。

トップ・ダウンとボトム・アップのどちらが優れているかと比べるつもりは毛頭ない、米国は多民族国家故の強みと弱みを持っており、日本も単一国家故の強みと弱みをあわせ持っている。このため、米国には米国の風土に応じた方法で、日本もまた風土に応じた最も効果的な方法で指揮幕僚活動を実施していると感じる。

「三人寄れば文殊の知恵」「和をもって尊しとなす」風土で育った私は、日本のやり方を大切にしつつ、米国式の良いところを学び、仕事の仕方を調和させながら勤務していきたいと感じている。

()

バスラLO日々業務報告(5月20日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [] [] (警戒態勢) : []
2 特記事項	(1) [] (2) [] []
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9総機統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況



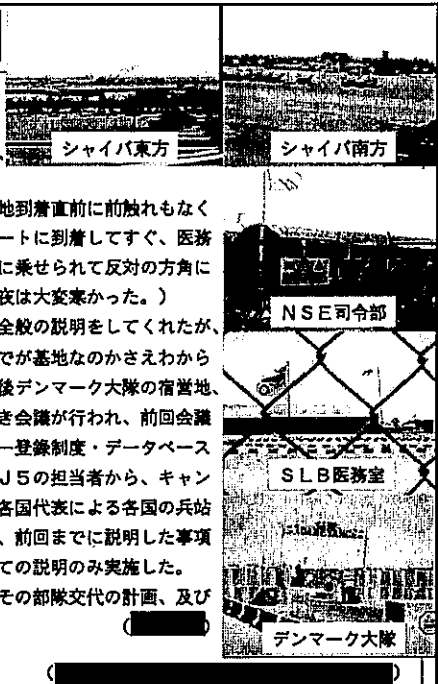
バスラ日誌 (5月20日)

1 昨日、シャイバ兵站基地 (SLB) において、月例の MJLC (多国籍統合兵站会議) が実施され、代理参加してきた。細部については、第4科を通じて報告するが、兵站基地とはこんなに広い敷地が必要なものかと改めて

思った。ヘリでの移動時間は約7~8分であったが、基地到着直前に前触れもなくフレアを4回発射したので初弾では少々驚いた。ヘリポートに到着してすぐ、医務室があるのを見つけて、挨拶に行ければと思ったが、車に乗せられて反対の方向に数キロ連れて行かれてしまった。(テント地区に宿泊、夜は大変寒かった。)

翌朝、中央付近にある廃屋の屋上に案内され、SLB全般の説明をしてくれたが、全周どちらを見ても、外構らしきものは見えず、どこまでが基地なのかさきえわらないくらい広い敷地であった。基地案内は、全般説明の後デンマーク大隊の宿营地、TK等回収訓練及び操縦訓練場を見せて頂いた。引き続き会議が行われ、前回会議の概要説明、SOI関連で民間契約輸送会社のドライバー登録制度・データベース作成、師団隷下部隊等の交代予定が説明された。その後J5の担当者から、キャンプ閉鎖予定及び補給幹線の変更についての説明があり、各国代表による各国の兵站状況等説明が実施された。日本隊の兵站状況については、前回までに説明した事項に大きな修正事項はないことから、部隊交代状況についての説明のみ実施した。各国とも6月までに部隊交代するところが多く、焦点はその部隊交代の計画、及び状況説明であった。細部については別途報告する。

2 本日快晴。バスラ4名極めて健康。



区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし [REDACTED] Threat Level 「 [REDACTED] 」
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内の治安情勢、デモ関連情報、英軍の情勢判断、タリルABにおいて発生したIDF攻撃事案(5/19)関連情報等 (2) 各種業務調整等 明日以降の豪軍支援要請関連、群長・業支援隊長等キャンブスミッティ訪問関連、 [REDACTED] 等サマーワ宿営地訪問関連、PDCC関連、SWG関連等 (3) 各種ミーティング等 英軍軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE1:英軍(小火器)0700~1200

クウェート分遣班業務報告		18. 5. 20
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等: [REDACTED] <input type="checkbox"/> 人員・武器等: 異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員24名、事故人員0名、現在員24名、中輸業×1名	<input type="checkbox"/> 天候: 晴れ <input type="checkbox"/> 気温: 0700 31°C(32°C) 1100 41°C(43°C) ()は直射日光	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 9次群2波2梯隊(53名)クウェート受入 <input type="checkbox"/> 10次群2波2梯隊(60名)サマーワ展開支援 <input type="checkbox"/> 部隊貨物輸送 <input type="checkbox"/> 装備品交付・回収支援	<input type="checkbox"/> 大使館調整 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 演習場調整会議 <input type="checkbox"/> キャンプバージニア立入申請	
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 9次群2波3梯隊(62名)クウェート受入 <input type="checkbox"/> 10次群2波3梯隊(60名)サマーワ展開支援 <input type="checkbox"/> 装備品交付・回収支援 <input type="checkbox"/> 9次群2波に対する検致	<input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける管理支援 <input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> サマーワへの追送準備 <input type="checkbox"/> 6次業務支援隊長予定者に対する対応	
その他(教訓・要望事項等)		
<input type="checkbox"/> キャンプバージニア宿泊者 232名(10次群×122名、9次群×105名、業支援×5名)		

クウェートLO日々業務報告(5月20日1900)

区分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル [] 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報):クウェート全土「十分注意」(N/C)	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLOCC
	1 連絡調整等 (1) LO次群3波受入準備 (2) メディア対応に関する調整 2 情報収集 情報資料 3件	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 LO次群3波受入準備 2 情報収集	
その他	なし	